

未来の青森県を担う若人育成講座第3講座～高校生自主企画～ あっとおどろくこともりだくさんのり [rediscovery] 再発見ツアー

異年齢交流をテーマに、高校生が視察地、研修内容等をプランニングした『あおもりツアー』が、8月1日（月）・2日（火）の両日（1泊2日宿泊研修）に開催されました。

このツアーは、中高生27名が参加し、南部地方の歴史や文化、県立種差少年自然の家での体験活動等をとおり、本講座の演習である「寺子屋ありす」、「寺子屋サンサン」の小学生に学びの成果を還元する目的で実施されました。

◆ツアーのきっかけ

日曜日の午後、当センター1階インフォメーションプラザありす奥のブースでは、『寺子屋ありす』が、黒石市立黒石東公民館では『寺子屋サンサン』が開催されています。

異年齢の青少年が校種を超えて、定期的に交流することで、新たな発見・気づきが生まれ、「もっと青森県を知りたい」、「小学生を楽しませる工作体験を計画したい」との声が上がり、高校生が主体的に企画を立て、準備し、「オモイ」を「カタチ」にする今回のツアーの実現へととなりました。

見学場所の選定やアポイントメント、活動内容の決定、さらにはツアー募集ちらしの作成もすべて運営する高校生が担当しました。

◆活動内容

○8月1日（月）

- (1) 蒼然平一里塚跡見学
- (2) 八戸市博物館見学
- (3) 八戸三社大祭見学
- (4) キャンドルファイヤー、高校生自主企画
地域実践活動事例発表
(宿泊地：県立種差少年自然の家)

○8月2日（火）

- (5) 南部せんべい焼き体験
- (6) 県立三沢航空科学館見学・紙飛行機製作体験



蒼然平一里塚跡見学



八戸市博物館見学



キャンドルファイヤー



地域実践活動事例発表



南部せんべい焼き体験



高校生が作成したツアー募集ちらし

◆受講者の声

- ・今まで知らなかった青森の魅力に触れたり、初めて会った人とコミュニケーションを取ったりして、人間関係の深め方を学びました。
- ・青森の歴史や自然、科学などたくさん学ぶことができた。
- ・企画側のみなさんが、いろんな事を考えてくれたおかげで、自然とほかの子とも喋る機会が設けられて楽しかったです。個人的にはバス内での席替えがホント good!! ナイスアイデアでした!!
- ・テーマを決めての会話だと話やすく、その話題から発展して、仲良くなるということがわかった。
- ・次回は2泊3日で実施したい。1泊2日だと少ないと思った。
- ・もっといろいろなところの人と交流を深め、様々な行事を体験したいです。



高校生自主企画



県立種差少年自然の家にて

「未来の青森県を担う若人育成講座」とは…

青少年が自己肯定感を高め、主体的に行動できるようにするため、異年齢集団における活動をとおり、他者と協力し、相互に学び合う講座と演習を実施している。